

スマートPBXサービス オフィス構築サービスに関する利用規約【現改比較表】 2023年4月28日現在

～2023年4月27日

2023年4月28日～

第1章～第7章（略）

料金表

通則（略）

第1表 販売に関する代金及び工事に関する費用

1 適用

第1章～第7章（略）

料金表

通則（略）

第1表 販売に関する代金及び工事に関する費用

1 適用

区 分	内 容		
(1) 本機器の 販売に関する 代金の適用	当社は、本機器（転送ゲートウェイ装置及びオフィスリンクゲートウェイ装置を除きます。）の販売に関する代金を適用するにあたって、次表のとおり本機器の区分を定めます。		
	機器種別	区 分	
	IP フォン	ミッドレンジモデル SIP 登録可能数が6のもの	ア イ以外のもの イ AC 電源を付して提供 するもの
		ミッドレンジモデル Type II SIP 登録可能数が6のもの	ア AC 電源を付して提供 するもの
ベーシックモデル	ア イ以外のもの		

区 分	内 容		
(1) 本機器の 販売に関する 代金の適用	当社は、本機器（転送ゲートウェイ装置及びオフィスリンクゲートウェイ装置を除きます。）の販売に関する代金を適用するにあたって、次表のとおり本機器の区分を定めます。		
	機器種別	区 分	
	IP フォン	ミッドレンジモデル SIP 登録可能数が6のもの	ア イ以外のもの イ AC 電源を付して提供 するもの
		ミッドレンジモデル Type II SIP 登録可能数が6のもの	ア AC 電源を付して提供 するもの
ベーシックモデル	ア イ以外のもの		

		SIP 登録可能数が 2 のもの	イ AC 電源を付して提供するもの			SIP 登録可能数が 2 のもの	イ AC 電源を付して提供するもの
		ベーシックモデル (N) Type II	ア イ以外のもの			ベーシックモデル (N) Type II	ア イ以外のもの
		SIP 登録数が 1 のもの	イ AC 電源を付して提供するもの			SIP 登録数が 1 のもの	イ AC 電源を付して提供するもの
	P o Eスイッチ	8ポートモデル (A) Type II				8ポートモデル (A) Type II	
		16ポートモデル (A) Type II				8ポートモデル (A) Type III	
		ミッドレンジモデル Type II 用 (8ポート)				16ポートモデル (A) Type II	
		ミッドレンジモデル Type II 用 (16ポート)				16ポートモデル (A) Type III	
						ミッドレンジモデル Type II 用 (8ポート)	
	スイッチングハブ	8ポートモデル Type II				8ポートモデル Type II	
		16ポートモデル				8ポートモデル Type III	
		24ポートモデル				16ポートモデル	
						16ポートモデル Type II	
						24ポートモデル	
						24ポートモデル Type II	
	レイヤ2スイッチ	8ポートモデル Type II				レイヤ2スイッチ	8ポートモデル Type II
	ルーター	ミッドレンジモデル(Y)Type II				ルーター	ミッドレンジモデル(Y)Type II
	アクセサリ (マグ	A-L サイズモデル				アクセサリ (マグ	A-L サイズモデル

	ネット)	A-M サイズモデル
	アクセサリ(ラッ	A-L サイズモデル
	クマウントキッ	A-M サイズモデル
	ト)	A-S サイズモデル
		A-SS サイズモデル
		A-LL サイズモデル
		Y-M サイズモデル
	AC 電源	ミッドレンジモデル Type II 用 AC 電源

(2) 転送ゲートウェイ装置の販売に関する代金の適用

当社は、転送ゲートウェイ装置の提供に関する料金を適用するにあたって、次表のとおり販売する転送ゲートウェイ装置の区分を定めます。

機器種別	区分
転送ゲートウェイ装置 (i)	50 チャンネルモデル
転送ゲートウェイ装置 (m)	8 チャンネルモデル

(3) (略)

(略)

	ネット)	A-M サイズモデル
	アクセサリ(ラッ	A-L サイズモデル
	クマウントキッ	A-M サイズモデル
	ト)	A-S サイズモデル
		A-SS サイズモデル
		A-LL サイズモデル
		Y-M サイズモデル
	AC 電源	ミッドレンジモデル Type II 用 AC 電源

(2) 転送ゲートウェイ装置の販売に関する代金の適用

当社は、転送ゲートウェイ装置の提供に関する料金を適用するにあたって、次表のとおり販売する転送ゲートウェイ装置の区分を定めます。

機器種別	区分
転送ゲートウェイ装置 (i)	50 チャンネルモデル
	50 チャンネルモデル Type II
転送ゲートウェイ装置 (m)	8 チャンネルモデル

(3) (略)

(略)

2 販売に関する代金及び工事費の額

2-1 本機器の販売に関する代金

機器種別	区分	単位	料金額
IP フォン	(略)	(略)	(略)
P o Eスイッチ	8ポートモデル (A) Type II	1台ごとに	49,600 円 (54,560 円)
	16ポートモデル (A) Type II	1台ごとに	157,100 円 (172,810 円)
	ミッドレンジモデル Type II 用 (8ポート)	1台ごとに	67,000 円 (73,700 円)
	ミッドレンジモデル Type II 用 (16ポート)	1台ごとに	98,000 円 (107,800 円)
スイッチングハブ	8ポートモデル Type II	1台ごとに	16,400 円 (18,040 円)
	16ポートモデル	1台ごとに	34,900 円 (38,390 円)

2 販売に関する代金及び工事費の額

2-1 本機器の販売に関する代金

機器種別	区分	単位	料金額
IP フォン	(略)	(略)	(略)
P o Eスイッチ	8ポートモデル (A) Type II	1台ごとに	49,600 円 (54,560 円)
	<u>8ポートモデル (A) Type III</u>	<u>1台ごとに</u>	<u>55,000 円</u> <u>(60,500 円)</u>
	16ポートモデル (A) Type II	1台ごとに	157,100 円 (172,810 円)
	<u>16ポートモデル (A) Type III</u>	<u>1台ごとに</u>	<u>170,000 円</u> <u>(187,000 円)</u>
	ミッドレンジモデル Type II 用 (8ポート)	1台ごとに	67,000 円 (73,700 円)
スイッチングハブ	ミッドレンジモデル Type II 用 (16ポート)	1台ごとに	98,000 円 (107,800 円)
	8ポートモデル Type II	1台ごとに	16,400 円 (18,040 円)
	<u>8ポートモデル Type III</u>	<u>1台ごとに</u>	<u>17,000 円</u> <u>(18,700 円)</u>
	16ポートモデル	1台ごとに	34,900 円 (38,390 円)

<table border="1"> <tr> <td>24 ポートモデル</td> <td>1 台ごとに</td> <td>45,900 円 (50,490 円)</td> </tr> </table>				24 ポートモデル	1 台ごとに	45,900 円 (50,490 円)
24 ポートモデル	1 台ごとに	45,900 円 (50,490 円)				
(略)	(略)	(略)	(略)			
AC 電源	ミッドレンジモデル Type II 用 AC 電源	1 台ごとに	8,400 円 (9,240 円)			
転送ゲートウェイ装置 (i)	50 チャンネルモデル	1 台ごとに	78,600 円 (86,460 円)			
(略)	(略)	(略)	(略)			
備考						
1 (略)						
(略)						

	16 ポートモデル Type II	1 台ごとに	37,800 円 (41,580 円)
	24 ポートモデル	1 台ごとに	45,900 円 (50,490 円)
	24 ポートモデル Type II	1 台ごとに	51,300 円 (56,430 円)
(略)	(略)	(略)	(略)
AC 電源	ミッドレンジモデル Type II 用 AC 電源	1 台ごとに	8,400 円 (9,240 円)
転送ゲートウェイ装置 (i)	50 チャンネルモデル	1 台ごとに	78,600 円 (86,460 円)
	50 チャンネルモデル Type II	1 台ごとに	117,500 円 (129,250 円)
(略)	(略)	(略)	(略)
備考			
1 (略)			
(略)			

2-2 工事に関する費用 (略)

第2表 保守に関する料金

1 適用

(略)

2 料金額

機器種別	区分	単位	料金額		
			センドバック	オンサイト	コールドスタンバイ
P o E スイッチ	8ポートモデル (A) Type II	1台ごと に年額	5,900円 (6,490円)	21,600円 (23,760円)	
	8ポートモデル	1台ごと に年額	11,400円 (12,540円)	40,800円 (44,880円)	-
	16ポートモデル (A) Type II	1台ごと に年額	19,600円 (21,560円)	71,200円 (78,320円)	
	16ポートモデル	1台ごと に年額	17,900円 (19,690円)	64,700円 (71,170円)	-

2-2 工事に関する費用 (略)

第2表 保守に関する料金

1 適用

(略)

2 料金額

機器種別	区分	単位	料金額		
			センドバック	オンサイト	コールドスタンバイ
P o E スイッチ	8ポートモデル (A) Type II	1台ごと に年額	5,900円 (6,490円)	21,600円 (23,760円)	-
	8ポートモデル (A) Type III	1台ごと に年額	6,750円 (7,425円)	24,700円 (27,170円)	-
	8ポートモデル	1台ごと に年額	11,400円 (12,540円)	40,800円 (44,880円)	-
	16ポートモデル (A) Type II	1台ごと に年額	19,600円 (21,560円)	71,200円 (78,320円)	-
	16ポートモデル (A) Type III	1台ごと に年額	22,200円 (24,420円)	82,000円 (90,200円)	-
	16ポートモデル	1台ごと に年額	17,900円 (19,690円)	64,700円 (71,170円)	-

スイッチング グハブ	8ポートモデル	1台ごと に年額	1,800円 (1,980円)	6,200円 (6,820円)	-	スイッチング グハブ	8ポートモデル	1台ごと に年額	1,800円 (1,980円)	6,200円 (6,820円)	-
	8ポートモデル Type II	1台ごと に年額	1,800円 (1,980円)	6,200円 (6,820円)	-		8ポートモデル Type II	1台ごと に年額	1,800円 (1,980円)	6,200円 (6,820円)	-
							8ポートモデル Type III	1台ごと に年額	2,100円 (2,310円)	6,210円 (6,831円)	-
	16ポートモデル	1台ごと に年額	4,100円 (4,510円)	14,200円 (15,620円)	-		16ポートモデル	1台ごと に年額	4,100円 (4,510円)	14,200円 (15,620円)	-
	24ポートモデル	1台ごと に年額	5,300円 (5,830円)	18,900円 (20,790円)	-		24ポートモデル	1台ごと に年額	5,300円 (5,830円)	18,900円 (20,790円)	-
							16ポートモデル Type II	1台ごと に年額	4,500円 (4,950円)	15,390円 (16,929円)	-
							24ポートモデル Type II	1台ごと に年額	5,800円 (6,380円)	20,500円 (22,550円)	-
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
転送ゲート ウェイ 装置 (i)	50チャンネルモデル	1台ごと に年額	25,400円 (27,940円)	-	25,400円 (27,940円)	転送ゲート ウェイ 装置 (i)	50チャンネルモデル	1台ごと に年額	25,400円 (27,940円)	-	25,400円 (27,940円)
							50チャンネルモデル Type II	1台ごと に年額	29,700円 (32,670円)	-	29,700円 (32,670円)

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備考					
1 (略)					
(1) (略)					
(2) 使用できる外線サービス、転送ゲートウェイ装置 (i)、(m) の機器区分及び接続可能数は当社が別に定めるものとします。					
(注) 当社が別に定める機器区分及び接続可能数は次のとおりとします。					
使用する外線サービス	転送ゲートウェイ装置機器種別及び区分	接続可能数		備考	
		外線チャンネル数	内線端末数		
・ NTT Com ひかり電話サービス ・ 東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の音声利用 IP 通信網サービス契約約款に規定する音声利用 IP 通信網サービス第 2 種サービス	転送ゲートウェイ装置 (m)	(略)	(略)	(略)	
	転送ゲートウェイ装置 (i) 12 チャンネルモデル	12ch	52 台	IP Phone のみ利用した場合	
			32 台	IP Phone とスマートフォン又はスマートフォンアプリを混在利用した場合	
転送ゲートウェイ	50ch	100 台			

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
備考					
1 (略)					
(1) (略)					
(2) 使用できる外線サービス、転送ゲートウェイ装置 (i)、(m) の機器区分及び接続可能数は当社が別に定めるものとします。					
(注) 当社が別に定める機器区分及び接続可能数は次のとおりとします。					
使用する外線サービス	転送ゲートウェイ装置機器種別及び区分	接続可能数		備考	
		外線チャンネル数	内線端末数		
・ NTT Com ひかり電話サービス ・ 東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の音声利用 IP 通信網サービス契約約款に規定する音声利用 IP 通信網サービス第 2 種サービス	転送ゲートウェイ装置 (m)	(略)	(略)	(略)	
	転送ゲートウェイ装置 (i) 12 チャンネルモデル	12ch	52 台	IP Phone のみ利用した場合	
			32 台	IP Phone とスマートフォン又はスマートフォンアプリを混在利用した場合	
転送ゲートウェイ	50ch	100 台			

	装置 (i) 50 チャンネルモデル			
・第6種シェアード IP-PBX サービス カテゴリ 1 タイプ 1	転送ゲートウェイ装置 (i) 12 チャンネルモデル	16ch※1	46 台 ※2	IP Phone のみ利用した場合
			26 台 ※2	IP Phone とスマートフォン又はスマートフォンアプリを混在利用した場合
・第6種シェアード IP-PBX サービス カテゴリ 1 タイプ 2	転送ゲートウェイ装置 (i) 50 チャンネルモデル	50ch	100 台	

※1 外線チャンネル数を 17ch 以上使用する場合は、転送ゲートウェイ装置 (i) 12 チャンネルモデルをスイッチに複数台接続させる必要があります。

(3)転送ゲートウェイ装置(m)は、当社で確認及び設定変更ができるよう遠隔アクセス設定します。遠隔アクセスを行い、設定を変更する場合は、事前にオフィス構築サービス契約者に通知します。

3 転送ゲートウェイ装置(i)により当社の Universal One サービス配下に接続を行う場合の提供条件は次のとおりとします。

	イ装置 (i) 50 チャンネルモデル及び 50 チャンネルモデル Type II			
・第6種シェアード IP-PBX サービス カテゴリ 1 タイプ 1	転送ゲートウェイ装置 (i) 12 チャンネルモデル	16ch※1	46 台 ※2	IP Phone のみ利用した場合
			26 台 ※2	IP Phone とスマートフォン又はスマートフォンアプリを混在利用した場合
・第6種シェアード IP-PBX サービス カテゴリ 1 タイプ 2	転送ゲートウェイ装置 (i) 50 チャンネルモデル及び 50 チャンネルモデル Type II	50ch	100 台	

※1 外線チャンネル数を 17ch 以上使用する場合は、転送ゲートウェイ装置 (i) 12 チャンネルモデルをスイッチに複数台接続させる必要があります。

(3)転送ゲートウェイ装置(m)は、当社で確認及び設定変更ができるよう遠隔アクセス設定します。遠隔アクセスを行い、設定を変更する場合は、事前にオフィス構築サービス契約者に通知します。

3 転送ゲートウェイ装置(i)により当社の Universal One サービス配下に接続を行う場合の提供条件は次のとおりとします。

(1) 使用できる外線サービスは、当社の第6種シェアードIP-PBXサービス（カテゴリ-1のタイプ1に限ります。）に限ります。

(2) 使用できる転送ゲートウェイ装置(i)の区分は、12チャンネルモデル及び50チャンネルに限ります。

(1) 使用できる外線サービスは、当社の第6種シェアードIP-PBXサービス（カテゴリ-1のタイプ1に限ります。）に限ります。

(2) 使用できる転送ゲートウェイ装置(i)の区分は、12チャンネルモデル、50チャンネルモデル及び50チャンネルモデルTypeIIに限ります。

附 則（令和5年4月25日 CAS1サ第000400000158-01号）

この改正規定は、令和5年4月28日から実施します。